

大妻女子
大学所蔵

狂歌・狂文・狂歌師関係和本書目（続）

——平成三年二月〜同十四年十二月——

石川 了 編

凡 例

- 一、本稿は、浜田義一郎文庫と吉田精一文庫を含む二七〇余点を収録した「大妻女子大学所蔵狂歌・狂文・狂歌師関係和本書目―平成三年一月現在―」（大妻国文）第二十二号、平3・3）に続くもので、一枚刷り等を含めて二四〇点余りを収録する。
- 一、一部明らかに狂歌・狂文に該当しない書が含まれているが、著名な狂歌師の作、又は関係作はあえてこれを加えた。
- 一、一部の例外を除き、複製本及び狂詩関係のものは、これを全て省いた。
- 一、掲載は「冊子本」「一枚摺り」「軸物・未表装物」の順とした。
- 一、見出し行における使用記号・略称の意味は、次の（ ）内の通りである。
 - 〔 〕（仮書名又は推定次項）、外（外題）、内（内題）、尾（尾題）、序（序題）、目（目録題）、見（見返し題）、扉（扉題）、書外（書外題）、刊（刊本）、写（稿本を含む写本）
- 一、特に刊本の外題については、「書外」「書外題」と特記されていない限り、「外」「外題」とあれば原題簽又は刷付け表紙・切付け表紙からの書名である。

【前稿補訂】（「↓正」の形で示す）

一、蔵書番号の訂正

75頁	三十六人狂歌撰（外）	↓浜・911. 19 Sa642	98頁	狂歌芋環集（扉）	→911. 19 Ky466
89頁	狂歌笛竹集（外・内）	↓911. 19 Ky427 1~2	同	狂歌三十六歌仙集（内）	→911. 19 Ky414
92頁	狂歌今昔物語上（外・内）	↓911. 19 Ky467 1	99頁	狂古今崎人画像集（扉）	→911. 19 Ko44
同	狂詠都名物集（内）	↓911. 19 Ky22 1~3	同	〔同〕〔同頃〕	→911. 19 Ky431
96頁	戯劇百人一首闇夜磔（見）	↓911. 19 Y49	同	狂言哥仙画像集（扉）	→911. 19 Ky32

一、書型の訂正

80頁 狂言みめくりはなしの種(外) ↓半紙本
註語

一、解説文の訂正

94頁 「狂歌集」

諸職業等を兼題とした水魚連の月次本。外題「狂歌書画(カスレ)」。六樹園序。口絵及び巻末絵彩色刷り。画図・呉北溪、書画・五山や文晁等諸名家。

← 諸職業等を兼題とした月次本で、仮書名「職人尺狂歌集」とも。

【冊子本】

1 「古今狂歌仙」 延宝七年 刊 愛香軒眠鼻子撰 大本 二卷二冊 911.19 A25 1~2

「愛香軒眠鼻子」自序。絵入り(吉田半兵衛風)。刊記「延宝七己未歳夏至吉辰日/川勝又兵衛嘉珍開板」。小汀文庫旧蔵。

2 鸚鵡新徒「然草」(外) 「延宝頃」 刊 著者未詳 大本 二卷二冊 913.51 O64 1~2

随筆。中卷欠。原題簽「然草(以下破損)」。無署名序あり。絵入り(画者不明)。刊記「江戸大伝馬三町目/鱗形屋板行」。見返しに「あふむ新つれく(以下破損)/一名/ひそめ草」と大田南畝自筆墨書。奥に「鸚鵡新徒然草二巻得諸牛込門西/巖戸町書舖/寛政己未十一月廿四日時小至也/石楠書屋團(朱「杏/園」)と南畝朱書、「此本一名ひそめ草/正保二乙酉曆三条通菱屋町婦屋/林甚右衛門板と/いへる板行あり板木は別板也」と南畝墨書。本文にも南畝書入あり。大田南畝・幸堂得知等旧蔵。

3 雅筵醉狂集(外・内) 享保十六年印本写 風水軒白玉著 半紙本 三卷三冊 911.19 025-2 1~3

享保十六年浪華河内屋茂八・同忠七印本の写。奥書「石田元季君蔵板本により(中略)同(昭和十二年)八月二十九日本文を写したる同八月三十一日名古屋市(住所略)東区武平町寓居にて序文を透写す/三石 堀井磊」。

4 狂月の鏡 延享三年跋印本写 栗柯亭木端撰 半紙本 一冊 911.19 Ky4105

延享三年霜月跋で刊記「あはぢ町(住所下略)安井加兵衛」とある印本の写。奥書「石田元季君蔵板本により/昭和十二年七月十八日写了/名古屋市(住所略)/三石 堀井磊」。

- 5 歌狂秋の花 寛延二年跋印本写 永日庵其律撰 半紙本 一冊
911. 19 Ky4103
刊記に「書林／京 永田調兵衛／尾陽 木村六右衛門」とある印本の写。奥書「石田元季君藏板本により／昭和十二年六月二十六日写／名古屋市（住所略）／三石 堀井磊」。
- 6 狂歌かゝみやま 宝曆八年跋印本写 栗柯亭木端撰 半紙本 一冊
911. 19 Ky4107
宝曆八年孟夏跋印本の写。奥書「富田黙人君藏半紙板写本により／昭和十三年十二月二十二日写了す／名古屋市（住所略）／三石 堀井磊」。
- 7 歌千代のかけはし 宝曆九年印本写 芥河貞佐撰・輯 半紙本 一冊
911. 19 C492
刊記に「宝曆九年／卯正月吉日／書林／広嶋（住所略）本屋仙助／浪花（住所略）伊丹屋佐助」とある印本の写。奥書「富田黙人君藏板本に依り／昭和十六年六月十七日写了／名古屋市（住所略）／三石 堀井磊」。
- 8 万載狂歌集（外・内） 天明三年 刊 四方赤良・朱染菅江撰 半紙本 一七卷二冊
911. 19 Ma48 1D~2D
「あめあきらかなる（中略）みつとしはるのはしめのうらゝかなる 四方赤良」序。「天明みつとしはるの日（中略）朱染菅江」序。「時天明三年歳次癸卯 四方山人等」漢文跋。「橋のやちまた」跋。二冊目は巻十より始まる。刊記「天明三癸卯歳孟春吉日／京都（住所略）須原屋仕入店／大坂（住所略）柏原屋与左衛門／（江戸・住所略）須原屋伊八板」。「徳和歌後万載集」を「近刻」、「狂歌選」を説明文付きで「嗣出」と予告。
- 9 狂哥はまの（ぎやう）（目） 天明三年 刊 元木網著・四方赤良編 縦長袖珍本 一冊
911. 19 Ky4122
書題簽「はまのまさじ」。天明三のとし春の日 四方赤良」序。「あめあきらけき／みつとし／むつみ月 もとのもく網」跋。刊記「天明三歳癸卯春三月／書林／京（住所略）武村嘉兵衛／大坂（住所略）敦賀屋九兵衛／江戸（住所略）前川六左衛門／同（住所略）葛屋重三郎／寿梓」。刊記の前に葛屋の蔵板目録一丁あり。跋文とこの蔵板目録との間に、「堀川院活良百首題」と題する十四丁分の書写あり。上質紙使用。
- 10 絵本見立仮譬尺（外・目） 天明三年 刊 竹杖為軽編 半紙本 三卷三冊
917 035 1~3
見立て絵本。「卯の／はつ春／天竺老人事／竹杖為軽」序。勝尾春政画并書。刊記「天明三癸卯年正月吉辰／書肆／日本橋（住所略）須原屋市兵衛／神田（住所略）同 善五郎」。達摩屋五一（待買堂）旧蔵。

- 11 狂歌二葉艸(内・書外) 天明三年 刊 風齋撰 半紙本 一冊 911. 19 Ky4114
松永貞徳の詠を扉とする。「天あきらかに(中略)美津のとし正月/(中略)覚蓮坊住侶/目隠」序。「天明らかに三つの光り卯にやとる春の日/大木戸の黒牛」序。「天明三のとしきさらき中の五日/しもつふさとよの里人/東都桜川に飯居する 丹青洞よしまる」跋。絵入り(目隠・月影軒盛・自画・針通・等非・丹青洞恭円画)。刊記「天明三癸卯年/正月/書林/皇都(住所略) 武村嘉兵衛/浪花(住所略) 松村九兵衛/東都(住所略) 前川六左衛門」。彫工・東都(住所略) 上村仙魚。橘貞風撰「風齋校の「狂歌花鳥風月」を近彫予告」。
- 12 同(内) 寛政五年 刊 風齋撰 半紙本 一冊 911. 19 Ky468
右の11と比較するに、「歌二葉艸」の原題簽があるものの、跋文と「狂歌花鳥風月」の予告を欠く。刊記「寛政五癸丑年仲夏求板/浪華書林(大坂・住所略) 誉田屋伊右衛門」。
- 13 狂歌角力草 天明三年序印本写 釣方・頭光・飯盛等撰 半紙本 一冊 911. 19 Ky4104
天明三年五月二十日序印本の写。奥書「富田黙人君歳半紙板上下二冊本により写了す/昭和十三年八月二十五日即瑞昌占領の/翌日/名古屋市(住所略)/三石 堀井磊」。
- 14 「狂文宝合記」 天明三年印本写 木網・東作・為軽校合 大本 一冊 917 Ky14
天明三年七月刊『狂文宝合記』の図版のみを書写し、それに彩色したもの。筆者・書写年次ともに不明。
- 15 興歌春秋(内・尾) 天明四年 刊 無事館四交詠 半紙本 一冊 911. 19 B86
本文前に「無事館四交独詠集/牛山人橋平書」とある。「天明三とせ秋の半は(中略)無事館」自序。「牛山人」跋(全文陰刻)。刊記「天明四年辰正月吉辰/書林/皇都(住所略) 梅村三郎兵衛/江戸(住所略) 若林清兵衛/同(住所略) 勝見堂 川村弥兵衛/同(住所略) 彫工 玉置勘兵衛」。「興歌玉塵集」と同統編を予告。
- 16 狂詩礎(内) 天明四年跋 写 四方赤良輯 半紙本 一冊 919. 5 O81-7
狂詩の詩作手引き書。内題下署名によれば、四方先生輯、宿屋飯盛・大飯食人同校。「天明四年甲辰仲秋十九日 四方山人」自跋。書写者未詳。
- 17 嬾葉夷曲集(外・序・内) 天明六年 刊 尾田初丸撰 半紙本 二卷二冊 911. 19 R16 1~2
「天明癸卯歳孟夏吉辰/高松杉丸」序。「あめあきらかなるとしのみつにあたれるやよひのなかはになむ 浪華 尾田初丸」序。「天明五のとし寝覚月 青々舎酒丸」跋。卷末に「玉雲斎貞右十首詠」を付す。刊記「迎春社蔵版(朱方印で印文「迎春社/春」)/天明六丙午春

- 正月／書林／江戸（住所略）西村源六／京（住所略）錢屋庄兵衛／大坂（住所略）増田源兵衛／彫工 同（大坂）藤木金兵衛」。
- 18 狂阿伏兔土産（外） 天明七年 刊 含笑舎桑田抱臍著 大本 一冊 911.19 G19
 狂歌紀行。本文共紙刷付け表紙。内題「吉備之後州阿伏兔磬台寺紀行」。絵入り（画者不明）。刊記「天明七丁未仲秋」。刊記の後ろに、皇都表里房貞也が狂歌一首を寄せる。
- 19 百人一首和歌始衣抄（序） 天明七年序 刊 山東京伝著 中本 一冊 913.53 Sa67-9
 洒落本。「天明七年丁未孟陬／楓葉山東隠士京伝老人」自序。「みなものつたふ」序。口絵「政演画」。「京伝門子月池 朱翁鶏告」跋。卷末に蔦屋重三郎の蔵板目録一丁半を付す。
- 20 「絵本吾嬬鑑」（書外） 天明七年序 刊 万象亭撰 半紙本 三卷合一冊 291.36 E35
 狂歌絵本。「丁未孟春／根元江戸前隠士／万象亭」序。卷末に付録として、月池隠士戯作「江戸名所取組」を付す。絵は薄墨刷りで、北尾三二政美画。筆耕は天桂門人花女君美。刊記「東都（住所略）仙鶴堂（以下破損。鶴屋喜右衛門であろう）」。
- 21 「潮干のこと」 「寛政元年」 刊 朱楽菅江撰 半紙本 大本（折本） 一帖 911.19 Sh72
 狂歌絵本。「あけら菅江」自序。「八重垣連のもためによりて 千元太」跋。彩色刷り。刊記「画工 喜多川歌麿図／書林 御江戸（住所略）耕書堂 蔦屋重三郎梓」。
- 22 江戸団十郎鼻貞（外） 寛政元年 刊 桃栗山人柿発齋著 中本 一冊 774.2 U96-2
 内題「江戸容気団十郎鼻貞」。本文末に「天明九年／己酉春 桃栗山人柿発齋述」。江戸（住所略）鶴屋喜右衛門板。
- 23 絵本駿河舞（外） 寛政二年 刊 奇々羅金鶏編 半紙本 三卷合一冊 382.1 K1632 B
 狂歌絵本。序題「駿河舞」。喜多川歌麿画。劊劊・小泉新八。刊記「寛政九巳正月／浪華書林（住所略）和泉屋源七板」。刊記前に「万葉堂蔵板絵本目録」として十部を広告。蔵書印「しんま／ちみつ／井け」等。
- 24 「同」 寛政二年序 刊 奇々羅金鶏編 半紙本 三卷合一冊 382.1 K1632
 刊記と絵本目録を欠く以外は右の23と同内容。
- 25 「絵本吾妻遊」 寛政二年序 刊 奇々羅金鶏編 半紙本 三卷合一冊 911.19 H41-2

狂歌絵本。序題「吾妻遊」。「寛政二戊とし初春 奇々羅金鶏」自序。「喜多川歌麿」画。三巻のうち下巻のみは別作品のようだが未考。

- 26 「狂歌上段集」 〔寛政五年〕 刊 桑楊庵光撰 半紙本 一冊
911. 19 Ky442 2
下巻のみ。巻末に蔦屋重三郎蔵板目録一丁半を付す。

- 27 画本狂歌篋(序) 寛政五年 刊 豆永金成撰 豆本 一冊
911. 19 E353
狂歌絵本。「春秋亭田鶴丸しるす 寛政五うしの初春」序。紀安麿画。刊記「寛政五丑正月吉辰／書肆 玉屋町 永楽屋東四郎板」。巻末の蔵板目録に、「初土産 春秋亭田鶴丸大人撰 完／去年の枝折 豊年雪丸大人撰 完／手向の琴 紀安丸大人撰 完／月宮殿 方十園 玉浦大人撰 完」と広告。

- 28 新古今狂歌集(外・内) 寛政六年序 刊 元木網撰 半紙本 一五巻三冊
911. 19 Sh642 1B~3B
〔寛政六年水無月廿五日 もとのもくあみ〕序。原題簽の冊名「前編上」「前編下」「後編上」。巻十六〜巻二十に相当する後編下欠。

- 29 絵本江戸の美図(外) 〔寛政七年〕 刊 狂歌堂真顔撰 半紙本 二巻二冊
911. 19 Sh694 1~2
狂歌絵本。序題「燕都の見図」。「狂歌堂真顔」序。「森羅亭」跋。歌川豊国画。〔江戸〕和泉屋市兵衛(甘泉堂)板。「卯ノ春 甘泉堂蔵板」として、「狂歌絵本吾婦男」と「絵本勇見袋」を広告。笹川臨風旧蔵。

- 30 狂俗名所坐知抄(外) 寛政七年 刊 養老館路芳輯・同路産校 横本 二巻二冊
911.19 H95 1B~2B
各国の世俗地等に関する狂歌手引き書。目録題・内題・尾題「狂歌俗名所坐知抄」。「寛政七卯の弥生 得閑斎繁雅」序。「養老館路産」凡例。刊記「寛政七年歳次／乙卯初秋開板(上記二行の下に「蔵／養老館／版」の朱円印)／蔵書目録(五部を広告するが省略)／京都書林／(住所略) 林安五郎／(住所略) 著屋儀兵衛／(住所略) 大和屋嘉兵衛」。

- 31 「狂歌二妙集」 寛政七年序 刊 尋幽亭園生桃吉輯 大本 一冊
911. 19 Ky488
〔乙卯初夏 醉竹園橘洲〕自序(序中に「二妙集と名つけ」とある)。鯉と時鳥の薄墨刷り口絵(北尾紅翠斎画)。鯉と時鳥を題として酔竹連の人々が詠んだもの。

- 32 晴天闘歌集(外・序) 寛政八年 刊 つむり光撰 半紙本 二巻合一冊
911. 19 Se19
〔丙辰春三月 後巴人亭光〕序。絵入り(哥麿・仁義道守画)。「浅草庵市人」跋。刊記「文化七年庚午九月／(江戸・住所略) 前川六左衛門／(江戸・住所略) 鶴屋金助」。

- 33 狂歌集(書外) 寛政九年頃 写 浅草庵撰 半紙本 一冊 911.19 Ky481
常陸の人々に請われて浅草庵が撰をしたもので、正式書名がない。真砂庵撰「寛政九巳年正月六日初会」等を含む。
- 34 狂歌東西集(序) 寛政十一年序 刊 三陀羅法師撰 半紙本 二卷二冊 911.19 Ky4109 1~2
「寛政巳未春 千秋庵」自序。江戸・万屋太治右衛門の蔵板目録一丁を付す。
- 35 狂歌杓子栗(外・目・内・尾) 寛政十一年序 刊 便々館湖鯉鮒編 半紙本 二卷二冊 911.19 Ky4110 1~2
原題簽の卷名「かみ(しも)」。寛政十あまりひとしふみ月ふみをさらす日「酔月庵序。「丹作」後序。
- 36 頭書狂歌百人一首(外・見) 寛政十二年 刊 中川度量編 大本 一冊 911.19 Ky4119
頭書中川度量述。絵入り(画者不明)。「寛政十二年しも月 馬声桃花鳥」序。刊記「寛政十二年庚申十二月講版/大阪書屋(住所略)赤松九兵衛梓」。
- 37 狂歌花鳥集(外) 寛政十二年序 刊 千種庵霜解撰 半紙本 一冊 911.19 139
頭光が四方赤良から巴人亭の号を譲られた記念の集。序題「夷曲花鳥集」。「寛政十あまりふたつのとしむつき 千種庵」自序。本文巻頭に光の像を配す。絵入り(易祇・踏斎北馬画)。
- 38 願の糸(外) 寛政十二年序 刊 三藏楼田鶴丸撰 半紙本(折本) 一帖 911.19 Ky4102
序題「狂歌ねかひのいと」。「庚申の秋 酔竹の老」序。挿絵薄墨刷り(月光亭歌政画)。「狂歌書目集成」の『七夕狂歌願の糸』と同本か。
- 39 うまのはなむけ(外) 〔寛政頃〕 刊 元木網編 小本 一冊 911.19 U63
最上稲船が故郷長門に帰る餞別狂歌集。「落栗庵元木網」巻頭詠。「智慧内子」序。「無心亭常恒」序。「栗々庵万曆」跋。巻末詠者は「最上稲船改登栗庵蟻寿久綱」。彩色刷り口絵元本網画。
- 40 絵本百千鳥(外) 〔寛政頃〕 刊 諸家詠 大本(折本) 二帖 911.19 Mo25 1~2
狂歌絵本。二冊目原題簽「画本百千鳥」。「六樹園」序(序中では書名「鳥つくし」)。歌麿画(彩色刷り)。

- 41 絵本紅葉橋(外) [寛政頃] 刊 金鶏撰 半紙本 一冊 911.19 Ky476
 狂歌絵本。序題「狂歌紅葉の橋」。「荻野屋のあるし金鶏」序。勝川春潮画。彫工藤一宗等三人。葛屋重三郎板。「絵本千代秋 同(勝川春潮)筆 出来」と広告。蔵書印「大惣かし本」。
- 42 ふてのやとり(書外) 寛政嘉永 写・刊 編者未詳 特大本(折本) 一帖 911.19 F52
 折本の表裏両面を利用した貼交ぜ帖。短冊八枚と摺物十二枚から成る。前者は美屋人・河原砂道(二枚)・鈴成・空同・光枝・真雌雄・詠者名なしの八枚。後者は「餞別」や「歳旦」等で、元木綱五十歳台半ばの信州旅行時のものが中心。年次が刻されているのは寛政五年花暦のものと、嘉永七年の歳旦。
- 43 [狂歌松のここの葉](跋中) 享和元年 刊 松花園詠 半紙本 一冊 911.19 Ma84
 書題簽「俳諧歌なか道」(由来不明)。諏訪の女性松花園追善のため、没後にその詠を集めて出版したもの。「享和はしめのとしさつき 甲斐の柳亭」序。「衣水亭釣舟」跋。
- 44 東来狂歌集(内) 享和元年 刊 酒月米人撰 半紙本 一冊 911.19 Ky470
 「享和改元春二月/酒月米人」自序。「酒船」跋。刊記「寛政十三年辛酉孟春/吾友軒蔵梓」。
- 45 狂歌蓬か嶋(外) 享和二年 刊 三蔵楼田鶴丸撰 半紙本 二巻二冊 911.19 Ky411 1~2
 「むさしの国たま川のほとりなる/石川まさもち」序。醉竹庵橘洲賛。刊記「享和二壬戌初春/三蔵楼蔵版/製本書林(名古屋・住所略) 東壁堂 永楽屋東四郎」。
- 46 [狂歌忠臣蔵当振舞] [享和三年] 刊 宿屋飯盛判 中本 一冊 911.19 Ky485
 狂歌評判記。「むくらふの宿屋のあるし」自序。「五老(宿屋飯盛)」賛。「盈斎北岱」画。巻末に唐衣橘洲が前年の享和二年七月十八日に没したことを特記する。
- 47 [江戸名所狂歌集] [享和三年] 刊 撰者未詳 半紙本 一冊 911.19 E24
 墨印狂歌絵本。序があるが、序者名かすれて読めない。美辰画。朱楽菅江「正筆」として「山里は軒端の萱にふきそへて」の一首を陰刻掲載する。奥付に「手鑑まさこ集」として、入花による歌俳集出版を広告。
- 48 後は昔物語(書外・内・尾) 享和三年序 写 手柄岡持著 大本 二巻二冊 914.5 H91-3 1~2

隨筆。転写本（書写者不明）。「享和三年癸亥九月尽／平沢常富六十九歳／於虎耳窟たはふれに識」序。蔵書印「東／英」（墨横印）。

- 49 狂歌鱗・狂歌鱗後編 享和三年・文化二年印本写 式亭三馬編 中本 一冊 911. 19 Ky444-2
全文ではなく抄写本。扉に「竹内久遠君出品」、その右上に別筆で「明治三十七年二月十三日第十八回開会」とある。筆者・書写年次とも不明。蔵書印「耽奇／会印」。

- 50 き、徳利（外） 文化元年 刊 聚楽案撰 半紙本 一冊 911. 19 Ky480

見返し題「狂歌き、徳利竹葉集」。「享和元辛酉年冬至日／裏辻前参議中将公理卿／中貞主人」序。「聚楽庵」自序。「享和三亥のとし冬／洛陽陳人 中井虹齋」序。「癸亥の長月 得閑齋」跋。絵入り（法橋中和・蒔絵師政香・文鳳・若仲等画）。刊記「享和四年甲子孟春／書林／京（住所略）菊屋源兵衛／同（住所略）長村太助／加州金沢 塩屋与三兵衛」。

- 51 狂歌吾妻集（序） 文化二年序 刊 千首楼堅丸等七人判 半紙本 一冊 911. 19 Ky477

- 52 都の手ぶり（外・序） 文化六年 刊 六樹園飯盛著 大本 一冊 914. 5 176
雅文体風俗文集。目録題「都手振」。「橘千蔭」序。「文化戊辰九月山本長祥識千六出園」跋。刊記「六樹園飯盛著／文化六年己巳五月／東都（住所略）角丸屋甚助梓」。本書後篇と「吾婦那万里」「通俗排悶録」を予告するとともに、同店の蔵板目録二丁を付す。関根只誠旧蔵にして只誠の朱筆墨筆の書入れ本。

- 53 かほごちもの紀行（内・尾） 文化五年 刊 鉄格子波丸著 大本 二卷合一冊 911. 19 Te86
狂歌紀行。「文化四年といふとの正月の半 土佐の国人刈谷季恭（下略）」序。「文化丁卯春正月／姪 西浦裕賢」跋。絵入り（中井藍江・丹羽桃溪画）。刊記「文化五年戊辰孟春／書肆／尾張（住所略）永楽屋藤四郎／江戸（住所略）萬屋重三郎／大阪（住所略）河内屋太助」。筆工浅野高造、彫工末吉源兵衛・池田長右衛門。福田文庫旧蔵。

- 54 狂歌当載集（外・見） 文化六年 刊 千秋庵三陀羅法師撰 半紙本 二卷二冊 911. 19 Ky4115 1~2
序題「当載しう」。「辰季秋 千秋庵」自序。刊記「文化六とせといふとのみなつきのなかばあり板しをへる／江戸書林／（住所略）前川六左衛門／（住所略）鴨伊兵衛／（上記両店にかけて）同梓」。

- 55 金曾木（外・目・序） 「文化六年頃成」 写 大田南畝著 半紙本 一冊 914. 5 081-7
隨筆。内題「かなそぎ」。文化六年遠桜主人奥書本の転写本。関根只誠旧蔵。

- 56 狂波津加蛭子(外) [文化八年] 刊 六樹園飯盛撰 半紙本 二卷二冊 911.19 H42 1~2
内題・尾題ともに角書なし。「尋幽亭刀蠶那」序。「宿屋飯盛」自序。絵入り(十返舎一九・英山・一向舎画)。見返しに「東都書肆 青黎閣(須原屋伊八)」とある。
- 57 狂歌泥亀ノ月(序) [文化八年]序 写 越谷山人鱗齋著 半紙本 一冊 911.19 K085
百人一首 彩色絵入りの道戯百人一首で、稿本の転写本。「未のはる 越谷山人鱗齋」自序。「文化丙子の年神無月 六十八叟蜀山人」跋。奥書「明治十六年一月写 阪井氏」。
- 58 万代狂歌集(外・内) 文化九年 刊 六樹園・塵外楼編 半紙本 六卷四冊 911.19 Ma433 1~4
「蜀山人」序。「宿屋飯盛」自序。「塵外楼清澄」跋。刊記「文化九壬申年秋新板/東都(住所略)書物問屋角丸屋甚助藏」。刊記前に「小栗外伝」を広告するとともに、同店(衆星閣)の蔵板目録二丁を付す。原題簽の冊名「初編上(初編下・二編上・二編下)」。
- 59 同(外・内) [同年] 刊 六樹園・塵外楼編 半紙本 六卷四冊 911.19 Ma432 1~4
右の58の後印本。比較するに、見返しがあつて「六樹園飯盛撰/塵外楼清澄校/万代狂歌集/東都 衆星閣藏」。刊記「書肆/京都(住所略)出雲寺文治郎/大坂(住所略)敦賀屋九兵衛/(一店分ほどの余白)/江戸(住所略)須原屋茂兵衛/同(住所略)英大助/同(住所略)西宮弥兵衛/同(住所略)岡田屋嘉七」。尚古堂(岡田屋嘉七)の蔵板目録七丁を付す。原題簽の冊名「一(〜四)」。
- 60 狂道算筆早まなび(見) 文化九年 刊 田村治助編・重田一九補 中本 一冊 419.1 Sa663
享和二年板の文化九年再印本。板元は見返しに「江戸書物問屋/文刻堂/層山堂/耕書堂」。
- 61 狂歌手毎の花三編 文化九年印本写 文屋茂喬撰 半紙本 一冊 911.19 Ky4106
文化九年正月京都吉田屋新兵衛印本の写。奥書「富田新之助君蔵板本中により/昭和十四年十二月三日写了/名古屋市(住所略)/三石堀井磊」。
- 62 狂歌一人十首(尾) 文化十年 刊 三日坊雛丸撰 半紙本 一冊 911.19 Ky4128
「文化十年正月 賀茂季鷹」序。「三日坊主人雛丸」凡例。「雄崎女寿賀江」跋。本文前に「玉雲齋貞右翁遺詠十首」と「ひな麿」の詠一首があり、尾題の次に「附録之部」を付す。絵入り(柳溪・在明・東野・法橋周南男吉村周永等画)。刊記「三日坊蔵梓園/彫工 藤木金兵衛/文化十曆癸酉正月 書肆(下記二店にかけて) 扇屋利輔/藤屋九兵衛」。

- 63 〔狂歌閑東百題集〕 〔文化十年〕 刊 鈍々亭和樽等撰 半紙本 一冊 911. 19 Ky4101
書題簽「近世狂歌集」。絵入り（辰斎・一九・三馬・京伝・尚左堂等）。
- 64 言志永言（外・扉） 文化十年 写 蜀山人作 大本 一冊 914. 5 G34
大田南畝作・筆の漢詩文と狂歌を模写（年次未詳）したもの。「文化の暦も／十まきかさなふる／とし／七月廿あまり／一日／杏花園」
跋。奥に『料理通』の「壬午（文政五年）春日 蜀山人」序を書写。
- 65 春窓秘事（外） 〔文化十年頃刊本の写〕 淇奥堂主人編 半紙本 一冊 917 Sh692
狂文。書写年次・書写者ともに不明。
- 66 紫笛狂歌集（内） 文化十一年序 刊 如雲舎紫笛詠 半紙本 一冊 911. 19 J82
打付け書の外題「紫笛狂歌集」は菅竹浦筆。跋題「紫笛上人夷歌集」。「文化十一戌のとし仲冬／樹下舎紫髻」序。「呉之臥竜明子蘭杜多
題」跋。絵入り（画者名不記載）。
- 67 狂竹川集（外） 文化十二年 刊 漢江撰 半紙本 三冊 911. 19 Ky489 1～3
内題「狂歌竹川集」。「文化十一甲戌のとし水無月十五日になむ の庵漢江」自序。「戌季夏 催馬欄貞岡」跋。なお自序の後に、撰者とそ
の師朱染菅江・節松嫁々との関係にふれる一文あり。
- 68 狂歌竹川集（外・内） 同 刊 漢江撰 半紙本 二冊 911. 19 Ky484 1,3
右の67と比較するに、秋冬の部に相当する第二冊目を欠き、原題簽が異なる他、刊記「文化十二載乙亥春／書林 仙鶴堂（住所略）鶴屋
喜右衛門板」が備わり、本書と「狂歌玉のいさこ」を解説文入りで広告する。
- 69 俳諧歌臈（外・目） 文化十三年 刊 式亭三馬輯 中本 二卷二冊 911. 19 H1522 1～2
「式亭三馬」序。刊記「文化十三年丙子正月発市／江戸書鋪／（住所略）西宮弥兵衛／（住所略）万屋太次右衛門」。
- 70 狂馬鹿文集（外） 文化十三年 刊 藪野椿・物丹明安・私本屋輯 半紙本 四卷合一冊 911. 19 B15
目録題・内題・尾題「馬鹿文集」。「物にあきやす」序。「艸医藪野椿」序。「池鯉鮒のいち女」跋。刊記「文化十三年／子中冬吉日／皇都
書肆（住所略）丁子屋源治郎」。

- 71 ^{十二評}狂歌国尽(扉) 「文化頃」 刊 六樹園等十二人評 半紙本 一冊 911.19 Ky4113
遠桜山人狂歌賛「山城の木幡のさとの」云々。北斎等画。
- 72 「みちのくふり」(序中) 「文化頃」 刊 千首楼堅丸等撰 半紙本 一冊 911.19 Mi13
「浅草庵印(市人)」序。絵入り(蹄斎北馬画)。催主壺南楼山住。筆工壺明楼文方。彫刻朝倉九左衛門。
- 73 ^狂絵馬合女仮名手本(外) 「文化頃」 刊 「千秋庵三陀羅法師撰」 半紙本 二卷一冊 911.19 E512
本文共紙刷付け表紙に「芝泉岳寺／開帳奉納」「恋四十七首」「千秋連」「板元 松山堂」とある。いろは四十七文字を歌頭に置く四十七首を忠臣蔵各段に配する。十一段目切の「す」が三陀羅法師の詠。絵入り(画者不明)。
- 74 狂歌衆美四点集(内) 「文化頃」 刊 真顔・湖鯉鮒等四人撰 半紙本 一冊 911.19 Ky469
- 75 不問語(序) 「化政期」 写 大田南畝著 半紙本 一冊 914.5 O81-8
随筆。転写本で、奥に「安政三年辰初春写之」。関根只誠旧蔵。
- 76 ^{狂歌}面かけ百人一首(外) 文政二年 刊 繁雅・同茂喬・同砂長撰 大本 一冊 911.19 Ky4120
見返し題「狂歌俳百人一首」。絵入り(春川五七画)。口絵彩色刷り。「波竜主人」序。彫師松風舎。刊記「文政二歳次己卯／秋七月／書肆／吉田新兵衛／高山佐七／林権兵衛」。
- 77 ^{狂歌}両節わかみとり(外) 文政二年序 刊 今西五平撰 半紙本 一冊 911.19 W22
見返し題「若緑」。序題「若見とり」。「文政二年己卯正月 今西五平」自序。絵入り(自画等)。刊記「柳条亭蔵／書林 伊よや左右衛門」。入集者の優遊館可童旧蔵本。
- 78 清話抄(内・尾) 文政三年 刊 浅草庵著 半紙本 二卷一冊 911.19 O21
狂歌手引き書。「浅草庵」序。本文末に「浅茅庵蔵板」。刊記「文政三庚辰夏発行／弘所書林／京(住所略)植村藤右衛門／大坂(住所略)秋田屋太右衛門／江戸(住所略)蕙屋重三郎／同(住所略)和泉屋庄次郎」。「清話抄後編」を予告。
- 79 ^狂兄弟車金烏玉兔集前編(外) 文政三年 刊 花咲庵等十二人撰 半紙本 一冊 911.19 Ky23

「六樹園」序。口絵は肖像画（北溪画）。催主臥竜園。巻末に「于時文政三辰年睦月 花園連藏板／彫工 玉光舎占正」とある。見返しは番付。

80 こむらさき（外） 文政四年 刊 六樹園・柏木葉守撰 半紙本 一冊 911.19 K068

本文共紙刷付け表紙。口絵葉守自画。巻末に「文政四年辛巳孟夏五日披講」とある。

81 ^{月並}狂歌百題（見） 文政五年 刊 芍薬亭長根撰 半紙本 二冊 911.19 Ky4129

書題簽「狂哥（歌）百題集 上（下）」。「見返しに」^{月並}狂歌百題／菅原連」。絵入り（岳亭・北溪画）。巻頭に二月から十月までの兼題一覽の摺物を貼付する。

82 狂歌水滸伝（跋） 文政五年 刊 塵外楼・江都園・福廻屋撰 半紙本 一冊 未登録

五十五丁ある口絵の最終丁ウに、陰刻で「狂歌水滸伝／文政壬午冬刻成 一百八員肖像 岳亭八島定岡」。「文政五年壬午夏五月識於靈巖 島北窓 六樹園主人」序。「文政五年壬午冬／江戸 福廻屋内成」跋。半丁に一人を配し、水滸伝に見立てた作者像にその略伝と詠を掲載する。

83 同（尾・跋） 同年 刊 塵外楼・江都園・福廻屋撰 半紙本 一冊 911.19 Ky475

右の82と比較するに、序と口絵二十八丁目までがなく、口絵の後に絵入りの月次狂歌本文（丁付「六十四」〜「百六十二」）がある。跋文右に同じ。

84 「列仙列女画像集」 文政七年 刊 六樹園・四方歌垣撰 半紙本 一冊 911.19 R28

「文政七とせくはるは月なかは 四方歌垣真顔」序。「宿屋飯盛一跋。前半の列仙部岳亭定岡画、後半の列女部拱斎北溪画。勅進元の新泉園鷺丸藏板。末尾に「六百番歌賞合 目録」として、『万葉集略解』等十三部の景品書物を掲げる。

85 狂歌五老峯（尾） 「文政七年」 刊 「六樹園撰」 半紙本 一冊 911.19 Ky473

上巻のみ。絵入り（岳亭画）

86 俳諧歌古鏡集（外・内・尾） 文政九年序 刊 真顔等六人撰 半紙本 六卷一冊 911.19 H1520

序題「ふるかゝみ」。「俳諧歌場真顔」序。「文政九とせといふとしふみ月半 燕栗の園のあるし西村千頼」序。

- 87 新撰狂歌百人一首(外・見) 「文政十年」 刊 西来居未仏撰 半紙本 二冊 911.19 Ky4112 1~2
本文共紙刷付け表紙。一冊目前半は肖像画集(柳川重信画)。
- 88 俳諧歌ゆるしのいろ(外・序) 文政十年序 刊 真顔・万象等三人撰 半紙本 一冊 911.19 H1519
内題・尾題「俳諧歌由留志廻色」。「文政十とせ亥のやよひはしめ 俳諧歌場四方真顔」序。「森羅亭」跋。藤沢の森節亭里人の判者披露集。
- 89 狂歌ひな草(書外) 文政十年序 刊 司馬の屋嘉門編 豆本(折本) 二帖 911.19 Ky4126 1~2
一帖目 序題「ひな草」。「文政十亥としきく月 前の山陽堂司馬の屋嘉門」序。(歌川)豊広画(彩色刷り)。本文前に「安永頃関東狂歌中興家元系図」を付す。
二帖目 書名の記載なし。「丁亥きく月 東都将監橋司馬の屋嘉門」序。(歌川)豊広画(彩色刷り)。内容は百人一首のパロディ。
- 90 狂歌水滸伝(外・内) 文政十一年 刊 福廻屋編 半紙本 一冊 911.19 Ky499
本文共紙刷付け表紙に、右の書名とともに「文政戊子夏新錦」「七宝連蔵」と刻されている。「六樹園」序。作者略伝を付す薄墨刷り口絵二丁(画者名不記載)、本文二十二丁。
- 91 狂歌四季訓蒙図彙(外・見) 文政十一年序 刊 便々館琵琶彦撰 半紙本 一冊 911.19 Sa222
本文共紙刷付け表紙。内題「狂歌訓蒙図彙」。「文政庚子孟春/東都榎樹街隠士便々館」自序。五渡亭国貞・五湖亭貞景・吳北溪画。口絵は薄墨刷り。「文政頃」立項の97「月次狂歌彩色英雄作者部類」と合綴。
- 92 狂歌桂花集(見) 文政十二年跋 刊 四谷庵竹杖月良撰 半紙本 一冊 911.19 Ke24
内題・跋題「桂花集」。「前揚名判者松園源因雄」序。「戯咲歌園湖鯉鮒」序。「湖濤園」跋。「文政十あまり二とせといふ年五月(中略)/竹杖月良」自跋。口絵葵岡北溪画。奥付に貼付されている戯咲歌園湖鯉鮒の一文は、チラシの一部分の如し。蔵書印「龍/屋」。
- 93 新玉帖(外) 「文政頃」 刊 「四方歌垣真顔」編 大本(折本) 一帖 911.19 A66
「四方歌垣真顔」序(「新歳拳筆」)。彩色刷り絵入り(日新・藤原惟旭・赤子・文晁・椿年画)。
- 94 俳諧歌かへりあるし(外) 「文政頃」 刊 四方歌垣真顔撰 半紙本 一冊 911.19 H1517
序題・目録題「相撲立次郎万首かへりあるじ」。内題・尾題「俳諧歌次郎万首かへりあるじ」。「秋津島人(織月亭)」序。山廻居大江磐門

旧蔵。

- 95 俳諧歌四字百首(内・尾) [文政頃] 刊 森羅亭万象撰 半紙本 二卷二冊 911.19 H1521 1~2
書題簽「俳諧歌四字百(以下カスレ)」。上・中巻存。絵入り(奚斎画)。
- 96 再考書拔集(外) [文政頃] 稿本 森羅亭万象撰 半紙本 一冊 911.19 Sa21
表紙に「台賜宗匠森羅亭万象先生自筆」と墨書。半丁に狂歌一首とその作者名が記され、各詠には朱の森羅亭点印がある。狂歌と作者名は別筆であることから、批点後に作者名記入か。奥に「森暉亭所蔵印」。
- 97 月次 狂歌彩色英雄作者部類(見) [文政頃] 刊 宝堂袖丸撰 半紙本 二編合一冊 911.19 Sa222
初編は本文共紙刷付け表紙で、外題「狂歌作者部類」。内題「彩色作者部類」。口絵彩色刷り肖像画(葵岡溪栖画)。後編も本文共紙刷付け表紙で、外題「狂歌彩色英雄作者部類」、内題「狂歌彩色作者部類」。撰者と画工は初編に同じ。後編のためのチラシ前半部と、葎俳諧歌場森羅亭の「風流を弁する詞」七丁を付す。「文政十一年」立項の91「狂歌四季訓蒙図彙」と合綴。
- 98 狂歌六帖題苑(内・尾) [文政頃] 刊 千種庵諸持撰 半紙本 一冊 911.19 Ky479
- 99 桂の於母影(外) [文政頃] 刊 颯々・蘭丸・満丸撰 半紙本 一冊 911.19 Ky4100
内題「狂歌桂のおもかけ」。
- 100 狂歌一会角觥立(外・内) [文政頃] 刊 文亭等十六人評 半紙本 一冊 911.19 T0972
外題・内題とも「菅江側案評西東拾六評」を冠する。巻末詠の作者は淮南堂。絵入り(春月亭花守画)。
- 101 職人尽狂歌合(扉) [文政頃] 刊 文々舎蟹子丸撰 半紙本 一冊 911.19 Sh963
内題「職人尽百題集」。口絵彩色刷り(岳亭画)。
- 102 名所遊覧肖像集(外・目・内・尾) [文政頃] 刊 檜園梅明撰 半紙本 合一冊 911.19 Me26
春の上中下・秋の下・冬の部。口絵葛飾為斎画。巻末に甲乙録を付す。なお秋の下のみ内題と尾題が「狂歌作者部類二編中巻」で、撰者も異なって諸持と捨魚なので、別作品の可能性があるが未考。

- 103 狂歌一代男(見・内) [文政頃] 刊 梅屋鶴子編 半紙本 一冊 911.19 Ky4121
 刷付け表紙の外題「二代をとこ」。「神田二代の劇神仙」序。一部彩色刷りの口絵「倣古人西川祐信北尾紅翠齋／勝川春英筆意／一勇齋歌川国芳画図」。見返しに「本町連蔵」とあり。
- 104 狂歌書画帖(序) [文政頃] 刊 福酒屋(藤内成)撰 半紙本 一冊 911.19 Ky451
 外題「狂歌書画(以下カスレ)」。六樹園序。扉「画図 吳北溪／撰輯 藤内成／書画 諸名家」。口絵の一部と巻末絵は彩色刷り。
- 105 歌の友ふね(外・内) [文政頃] 刊 曾根松古・雪の屋高根撰 半紙本 三卷合一冊 911.19 U963
 下巻は内題・尾題「歌のとも舟」。丁付から中巻と推定される巻には、内題・尾題ともになし。彩色刷り絵入り(岳亭・国貞画)。中巻別本(「大妻国文」)第22号94頁掲載)には見返しがあり、そこには「梅農屋鶴子撰」「催主 本町連蔵板」とある。
- 106 市川三升子へおくる狂歌(見) [文政頃] 刊 三升連校合 半紙本 一帖 911.19 114
 「六樹園」序。彩色刷り一枚(画者名不記載)を口絵の位置に付すが、これは後補。江都三升連の校合者は、塵外楼清澄・梅酒屋鶴子・宝市亭升成。催主は白毛舍万守・五渡亭国貞・五柳亭徳升。
- 107 狂花鳥風月(扉) [文政頃] 刊 臥竜園等五人撰 半紙本 一冊 911.19 Ka12
 本文共紙刷付け表紙。絵入り(北溪画)。催主は歌月堂笠成と歌春亭広樹。
- 108 狂歌百才子伝(外・内) [文政頃] 刊 浅草庵春村等撰 半紙本 一冊 911.19 H992
 春夏之部春村撰、秋冬之部檜園梅明撰、恋雑之部千種庵諸持撰。巻頭に「百才子伝」として詠者三十六人の略伝、巻末に詠者五人ずつが集う二函(雪鷺画)を付す。見返しに「千萱庵／千茅庵／合梓」。
- 109 狂歌統継集月相撲立(扉) [文政頃] 刊 六樹園・芍薬亭等六人撰 半紙本 一冊 911.19 Ky4127
 内題「狂歌統継集月次角舩立」。「本町庵三馬」序。北溪画。初会当座・至清堂撰、二会当座・一力斎撰。次項の110『狂歌月並花鳥集』と合綴。
- 110 狂歌月並花鳥集(内) [文政頃] 刊 歌林堂撰 半紙本 一冊 911.19 Ky4127
 北溪画。初会当座・松風台大人及び朶乙亭主人判。前項の109『狂歌統継集月相撲立』と合綴。

- 111 〔近世戯作者書簡貼込帳〕 〔天保前後頃〕 各自筆 大本 一冊 915. 5 Ta86
 (1) 柳う書簡 柳亭先生宛 日付欠 年次未考 (5) 誹道人発句 年次未考
 (2) 千代彦書簡 笠亭先生宛 正月八日付 年次未考 (6) 喜禪尼狂歌 年次未考
 (3) 種春書簡 柳亭大先生宛 十二月八日付 年次未考 (7) 霞村書簡 岡田たけ庵先生宛 正月四日付 年次未考
 (4) 西字詩文 年次未考
- 112 三題狂歌合(外) 〔天保前後頃〕 稿本 紀箴丸考 横本 一冊 911. 19 Sa62
 紀おさ丸・箴丸・桃尻物秋・木(記) 呼接・髭黒人・あかね・阿等金ホシ・味噌早馴・記行時・傘治粘・表具薄粘・手合金持・胸髭三代・背高記・記呼次の詠を収む。彩色絵入り(興士・筆成画)。
- 113 道戯百人一首(外) 〔天保前後頃〕 刊 山東京伝著 中本 一冊 911. 19 Sa672
 切付け表紙。「山東京伝」序。百人一首のパロディ。絵入り(画者不明)。本文の前に「職人八景」の部を付す。序文によれば仙鶴堂(鶴屋喜右衛門)板。
- 114 彼賀古登集(外) 天保三年序 刊 淮南堂・秋長堂・四方滝水撰 半紙本 一冊 911. 19 H1518
 見返し題「俳諧歌彼賀古登集」。内題「伊勢物語絵入俳諧歌辭言集」。「天保三とせしはず 俳諧歌房四方滝水」序。彩色刷り絵入り(竹内眉山画)。見返しによれば、催主は石原亭・嵩月房・金生舎・秀山房・養老人・大船亭。
- 115 戯劇百人一首闇夜磔(見) 天保四年序 刊 越谷山人鱗斎編 中本 一冊 911. 19 Y492
 「天保四つのとせし癸巳初春 四方滝水」序。全丁薄墨刷り絵入り(眉山竹孫画)。刊記「江戸/地本問屋(住所略)竹内孫八板」。見返しには「天保四癸巳/孟春改刻 保永堂(竹内孫八)梓」とある。天保六年の自跋がある別本(「大妻国文」第22号96頁掲載)の滝水序は、年次記載が「天保四とせ」。
- 116 同(見) 〔天保六年〕印本写 越谷山人鱗斎編 中本 一冊 911. 19 Y493
 右の115の表紙と序(年次記載は「四とせ」)跋のみを写したものの。序の後の朱筆識語「以下馬鹿三人之歌及百人一首/「戯百人一首」に同し/尾崎久弥君蔵板本により/昭和十二年九月二十七日写す/三石 堀井磊」。
- 117 〔狂歌紅糸集〕 天保六年 刊 芍薬亭撰 半紙本 一冊 911. 19 Ky483
 「天保六年冬 菅原長根」自序。口絵彩色刷り(二世柳川重信画)。本文末に「天保六年末九月」とあり。

118 倣古追詠(目・尾) 天保六年序 刊 黒川春村撰 半紙本 一冊 911.19 H822

原題簽左半分剝落につき正確に判読できないが、異同はなさそうである。「天保六年七月 黒河春村」自序。東常縁ら十八人の薄墨刷り座像(画者名不記載)と略伝を付す。上巻一冊のみだが、下巻は未刊であろう。

119 百家琦行伝(外・序・目・内・尾) 天保六年序 刊 八島五岳輯 大本 五卷五冊 281.08 H09 1~5

絵入り伝記集(画者不明)。「岳亭五岳/天保六中秋」序。「浪華書林前川文栄堂藏版書目」二丁と、前川文栄堂こと河内屋源七郎の「軍書小説類蔵板目録」三丁を付す。刊記「發行/書林/江戸(住所略)須原屋茂兵衛/同(住所略)山城屋佐兵衛/同(住所略)須原屋新兵衛/同(住所略)岡田屋嘉七/同(住所略)和泉屋吉兵衛/同(住所略)須原屋伊八/同(住所略)出雲寺万治郎/同(住所略)紙屋徳八/尾州(住所略)菱屋久八/大坂(住所略)河内屋源七郎板」。狂歌師裏住・董堂敬義(腹唐秋人)・森島中良(万象亭)・朱楽菅江等の逸話を収む。

120 同(外・目・内・尾) 慶応三年 刊 八島五岳輯 大本 五卷五冊 未登録

右の119と比較するに、岳亭序と蔵板目録二種を欠く。刊記「原本享保九年甲辰正月日成/慶応三年丁卯春再刻/三都書林/京(住所略)須原屋平左衛門/大坂(住所略)河内屋喜兵衛/同(住所略)河内屋茂兵衛/江戸(住所略)須原屋茂兵衛/同(住所略)山城屋佐兵衛/江戸(住所略)小林新兵衛梓」。

121 とぶの菅薦(外) 天保七年 刊 緑樹園撰 半紙本 一冊 911.19 T019

六樹園七回忌・塵外楼三回忌追善集。「緑樹園」序。「山川白酒」跋。巻頭に六樹園像(国貞画。彩色刷り)と塵外楼像(国直画。彩色刷り)を載せる他、交遊のあった文人・画家等入集。刊記「天保七初夏の日 東都梅多楼蔵板」。

122 千代垣素直追福秋露集(内) 天保七年序 刊 篤垣真葛撰 半紙本 一冊 911.19 C49

賞月楼見空の息子で四方側半者だった素直(越後直江津の人)追善集。「天保七とせといふとし五月の末/雑体吟社千頼」序。「天保七とせといふとし六月 篤垣真葛」自跋。本文前に北越五智国分寺境内の素直狂歌碑掲載。

123 真砂集三編(扉) 天保八年 刊 文章台有員撰 半紙本 一冊 911.19 Ky487

内題「狂譚真砂集」。「天保丁酉孟春 文章台有員」自序。口絵彩色刷り(緑齋重磨画)。巻末に「天保八丁酉年正月真砂三篇就 文章台蔵」とある。

- 124 〔同〕 〔同年カ〕 刊 文章台有員撰 半紙本 一冊 911.19 Ma61
 編数不明。巻末に「まさこ集／撰者 文章台有員／画工 喜多川重麿」とある。「玉兔」跋。挿絵薄墨刷り（画者不明）。
- 125 蓮の香（外・内） 天保十年跋 刊 阿良玉年武詠 半紙本 一冊 911.19 H39
 三河の和光庵年武一周忌追善遺詠集。「天保九年といふとしのみな月 杉園千善」序。「己亥の冬 東都俳諧歌／台賜宗匠／前秋長堂叟／白鶴老人」跋。
- 126 狂歌江戸の花（外・内） 天保十一年 刊 田鶴丸撰 中本 二巻二冊 911.19 Ky482 1~2
 「文政十三年寅仲冬 七十二叟田鶴丸」序。刊記「天保庚子年補刊／大阪 敦賀屋為七／江戸／角丸屋甚助／英平吉／前川六左衛門」。
- 127 四方の海（外） 天保十一年 刊 〔浅草庵〕撰 半紙本 一冊 911.19 Y81
 全丁人々寄合の図入り（雅川栗園画）。奥に「天保十一年庚子六月刻成／千蓋庵／千宝庵／（両者にかけて）梓」。
- 128 夷歌集百人一首（外） 天保十一年 刊 西南宮（雞馬）輯 半紙本 一冊 未登録
 淡彩摺り画像集。見返し題「歌集百人一首」。序題「加能越百人一首」。中山彭画。「天保庚子七十三齡菅原長根書於（以下二字ほど破損。「芍薬」であらう）亭」序。「井戸やの蛙万子桂月の十まりみかの日短毛にて記」跋。刊記「天保十一年庚子菊月刻成／同十九日於古今亭 開巻／西南宮（川後房）蔵版」。巻末に「作者通称録」を付す。
- 129 同（書外） 〔天保十一年〕印本写 西南宮（雞馬）輯 半紙本 一冊 911.19 Ka77
 右の128の彩色写本。筆者・書写年次ともに不明。
- 130 繪川^{一休}狂歌問答（外） 天保十四年 刊 橋庵貞房画 中本 二編二冊 911.19 Ky472 1~2
 切付け表紙の絵本。初・二編とも刊記「天保癸卯桜月発市／東都書肆（住所略）吉田屋文三郎」。
- 131 忠臣蔵狂歌集（扉） 〔天保頃〕 刊 鶴廻屋・杣廻屋・窓廻屋撰 半紙本 一冊 911.19 Ky478
 内題と尾題「狂歌（哥）忠臣蔵」。絵入り。扉見返しに「英齋国景画／千里亭寿梓」。
- 132 類題弄花集（内・書外） 〔天保頃〕 刊 鶴廻屋梅好撰 中本 一冊 911.19 R84
 下巻のみ。口絵彩色刷り（孔順画）。巻末に入集「人名録」を付す。

- 133 狂歌扶桑集(外・内) 〔天保頃〕 刊 西来居未仏撰 半紙本 二巻二冊 911. 19 Ky4117 1~2
 「西来居未仏」自序。刊記「東都書林／(住所略) 万屋伝次郎／(住所略) 西村与八」。野崎左文旧蔵。
- 134 狂歌崎人画像集(内) 〔天保頃〕 刊 竜の門梅明撰 半紙本 一冊 911. 19 Ky4130
 原題簽「□人肖像□歌集 全」(「崎人肖像狂歌集」であろう)。「檀園のあるじ」序。薄墨刷り口絵十九丁半(「口ノ二十」ウまで)。画者名不記載ながら、「大妻国文」第22号99頁掲載の『古今崎人画像集』と同じ口絵(但しこちらは「口ノ十一」ウまでしかない)なので国芳画。見返しに、本文に合致する八月から十一月までの兼題一覽の摺物貼付。
- 135 俳諧歌文台雅調(外・内) 〔天保頃〕 刊 真名富・広善・梅明撰 半紙本 一冊 911. 19 HI513
 尾題「文台雅調」。口絵彩色刷り(一立斎広重画)。見返しはチラシ後半部の流用の如し。
- 136 同(扉・内) 〔同〕 刊 真名富・広善・梅明撰 半紙本 一冊 911. 19 HI513 B
 扉になっている本文共紙表紙に「俳諧歌文台雅調」と刻されている他は右の135に同じ。
- 137 戯咲歌三玉集(内) 〔天保頃〕 刊 湖濤園芦元撰 半紙本 一冊 911. 19 Ky490
 口絵のうち、彩色刷り人物像相覧画・風景図北溪画。
- 138 檜垣三玉集(外) 〔天保頃〕 刊 檜園梅明撰 半紙本 四巻四冊 911. 19 Ky4116 1~4
 春上・同下・夏・秋下の四冊。内題・尾題「狂歌三玉集」。各冊とも口絵彩色刷り(春友亭・玉兔園・含翠等画)。
- 139 花月遊吟(外・内・尾) 〔天保頃〕 刊 浅草庵春村・浅裏庵広好撰 半紙本 一冊 911. 19 Ka18
 花の部春村撰、月の部広好撰。詠者が集う七図(画者不明)あり。
- 140 同(内・尾) 〔同〕 刊 浅草庵春村・浅裏庵広好撰 半紙本 一冊 911. 19 Ka182
 右の139と同本ながら原題簽欠。
- 141 狂歌美人職人鑑上之巻(内) 〔天保頃〕 刊 立川馬馬撰 半紙本 一冊 911. 19 Ky491
 口絵彩色刷り(画者不明)。

- 142 狂歌生樹後見よそわか(外) 弘化元年 刊 忍岡常丸著 中本 二編二冊 913.5 St65 1~2
前編文政四年後編同五年板の弘化元年再印本。前編序題「阿登視世蘇和歌」(内題はこれに「教訓/雑話」の角書)。後編内題「あと見よ蘇和歌」(角書「金の/生木」。前編「十返舎一九」序、「文政四巳の春 東都忍か岡常丸山人」自序。一九贊。絵入り(自画・東川画)。後編「文政五年春 東都忍か岡藤本常丸山人」自序。絵入り。後編本文末に「天保十五辰秋再板 江戸(住所略) 山本平吉蔵」。
- 143 普請手書俳諧歌疎(序) 弘化二年序 写 撰者未詳 短冊型 一帖 未登録
「時はきのとの巳のときささらきもちの日になむ(中略) 静廬」序。升成・梅明・元成・鶴子・銀鶏ら三十余名の狂歌を書き写したものの。
- 144 酔花集(内) 弘化四年序 写 鉦中亭和幸撰 大本 一冊 911 Su51
酔花亭春雲の一周忌追善集。「弘化四とせと/いふとしの/はるのなかは/鉦中亭和幸」自序。
- 145 名区小景卷中人名録 弘化四年印本写 小田切春江書画 半紙本 一冊 911.19 Me25
名古屋地誌絵本の入集者一覽。弘化四年五月千歳園蔵板印本の写。奥書ナシ。
- 146 仮名書狂歌短冊(序・尾) 嘉永元年 刊 六橋園・忠文舎臣笑等八人撰 半紙本 一冊 911.19 Ka43
原題簽「歌短冊」以外破損。「江戸 四世八文舎自笑」序。口絵彩色刷り(豊国等画)。
- 147 天明狂歌嘉津羅の花(外) 嘉永元年 刊 昇月堂桂三千丈撰 半紙本 一冊 911.19 Ky4125
見返し題・内題「天明狂歌桂の花」。「弘化四とせといふ水無月の頃(中略) 昇月堂塵外老人」自序。「弘化四とせといふ年の晩夏 月下園 桂影住」跋。絵入り(緑齋重麻呂画)。刊記「嘉永元戊申年初夏吉辰/本所中之郷竹町 昇月堂蔵板/製本発行書林 江戸(住所略) 雁金 屋治兵衛」。奥付に本書二編等三作を予告する。また一枚刷りチラシ「拾遺真木柱集歌合一会」(一枚摺り)の部に182として立項)を挟み込む。
- 148 「新」調風香集(外・尾) 嘉永四年開巻 刊 北栄子・至清堂判 半紙本 一冊 911.15 O25
内題「扇合新調風香集」。口絵に両国と花屋敷を描く(画者不明)。巻末にこの本の「扇面合」番付を付す。
- 149 狂歌ことの緒集(見) 嘉永六年 刊 面堂・燕栗園・琴通写等判 半紙本 一冊 911.19 Ky497

「香以閑人」序。口絵彩色刷り（画者不明）。巻末に「嘉永六年丑六月 三都栄垣内蔵」とある。

150 江戸文人寿命附（外）〔嘉永頃〕 刊 平亭銀籬著 半紙本 一冊 281. 04 H24

名鑑・戯文。刷付け表紙。内題「現存／雷名」の角書あり。諸文人の絵に狂詠を付す。「堀田原の寓居において 平亭銀籬」序。見返しに文錦堂板の「銀鷄先生著述目錄西年出版之部」を掲げ、巻末に五徳堂の「銀籬先生戌年著述目錄」を付す。

151 狂歌崑山集（外・目・内）〔嘉永頃〕 刊 撰者未詳 中本 一冊 911. 19 Ky4108

「賀茂季鷹」序。目錄最終丁裏に「荆楚歳時記」「増山井」「袖中訓蒙図彙」を広告。刊記「江戸（住所略）／須原屋茂兵衛／大阪（住所略）／秋田屋太右衛門」。

152 同（外・目・内）〔同〕 刊 撰者未詳 中本 一冊 911. 19 Ky4124

右の151と比較するに、刊記を欠く。

153 自詠狂歌百首（扉）〔安政二年装幀〕 稿本 青茂斎雪人詠 大本 一冊 911. 19 Se18

「此道にわきて未熟の青茂斎／素人もくもしかもゆき人」自序。雪人は本文からして京都の人らしい。奥書「安政二年乙卯五月下旬表紙終修造之／松井相模永什書」。

154 時雨廻熊手（外） 安政三年序 稿本 苦無境徳成編 半紙本 一冊 未登録

詩歌連俳の見聞雑著。狂歌では蜀山人・六樹園・式亭三馬・吉見儀助（紀定丸）等の詠が見える。柱に「恕堂藏本」と刻された用紙を使用。

155 湖水の玉藻（外・尾） 安政五年 刊 面堂・通環亭・梅屋撰 半紙本 一冊 911. 19 Kc89

「安政五年八月／翟森園あるし」序。口絵薄墨刷り（画者名不記載）。尾題下に「安政五年午歳冬／檀連蔵板」とある。

156 狂文紫鹿のこ（外） 安政五年成 稿本 長者園萩雄編 大本 一冊 917 Ky13

157 歌仙肖像集（外・内）〔安政頃〕 刊 面堂大人等五人撰 半紙本 一冊 911. 19 Ka74 B

尾題「肖像集」。口絵に続いて五丁半の作者肖像を付す（画者名不記載）。

158 富士山百景狂歌集(外) 万延元年序 刊 真入亭富士江撰 中本 一冊 911. 19 Sh64-2

全丁富士山略画入り。見返しがあり、薄墨地に封書を描き、表書に「おふじ様／参る人々／江都より／」、裏書に「雪の封し目／ふみ／ひらくなり」。「万延元年庚申四月 真入亭富士江」序。本文前に、「富士山の御由来」等と彩色刷り口絵(画者名不記載)がある。刊記「江都(住所略)／真入亭富士江藏板画／売弘所(江戸・住所略) 菊屋幸三郎」。刊記前に不朽山人撰の「追加」を予告する。

159 狂歌早引節用集(外・見・内・尾) 文久元年 刊 面堂大人等撰 半紙本 七卷二冊 911. 19 Ky474 1~2

絵入り(春柳斎画)。五之巻末に「文久紀元／春友亭(梅秀)藏梓」とある。

160 十八評画像集(外) 文久二年 刊 百舌鳥屋大人等撰 半紙本 一冊 911. 19 Ky486

尾題「狂歌十八評集」。肖像画入り(画者不明)。本文末に「文久二戊年秋彫」とあり。

161 狂歌忠臣蔵(外) 元治元年序 刊 琵琶翁湖静撰 中本 一冊 911. 19 Ky498

切付け表紙。校訂百樹園、画工歌川国員(口絵のみ彩色刷り)。「元治と改る年の季春(中略)撰者に代て百樹園」序。「三世便々館 八十齡琵琶翁湖静」跋。彫工豊原堂。刊記「大坂(住所略) 河内屋喜兵衛板」。

162 〔江戸狂歌月並摺合綴集〕 幕末、明治 刊 多久山人等撰 半紙本 合一冊 911. 19 E243

(1)天明古調狂歌合 〔江戸末期〕 刊 多久山人撰 明治二年八月 刊 長者園等判

(2)稻穂納会 〔江戸末期〕 刊 多久山人撰 〔江戸末期〕 刊 長者園撰

当座は天霞道人・見文窓翁・紀万丸・委細庵少智合評

(3)題「残暑」等 〔江戸末期〕 刊 多久山人撰 (7)御蔵前弁財天奉額 元治元年仲夏 刊 葎窓貞雅撰

(4)天明ふり狂歌月並 〔江戸末期〕 刊 長者園撰 (8)連名披露狂歌合 嘉永四年 刊 江境庵北雄撰

和合連。 江の字連。「何の舎のあるし」うら枝」序。古元齋月路画。

163 同行百人一宿大土佐草(外) 明治刷り 刊 笠亭仙果著 中本 一冊 913. 55 R94-3

見返し題は「草」が「艸」。天保元年刊の名古屋菱屋久八板を求板した大坂屋藤助印本の明治刷り。刊記「東京書(住所略)山田藤助」。自店を「^{新古}法帖皇漢洋書籍売買所」という。

164 狂歌現在奇人譚(内・尾) 明治二十六年 刊 八島定岡作・画 大本 三編六卷六冊 911. 19 G16-2 1~6

原題簽「狂歌奇人譚 上(下・二編上・二編下・三編上・三編下)」。見返し「八島定岡著／狂歌奇人譚／愛知書肆文光堂」。初編「文政七

年五月 六樹園」序、「文政七年五月 福酒屋内成」跋。二編「文政七年歳次関逢泥灘閏八月源朝臣光博」序、「文政七年閏八月 福酒屋内成」跋。三編「六樹園」序、「文々舎蟹子丸」跋。筆耕・黙齋三考、彫師・野瀬保治。刊記「明治二十六年十月譲受／書肆 愛知県名古屋 梶田勘助(住所略)」。東都書房大阪屋茂吉(同店文政七年印本は「大妻国文」第22号91頁掲載)からの求板印本。

165 ねさめの伽(外) 明治二十九年 刊 山辺の秋人詠 半紙本 一冊 911.19 Y18

福岡県の秋人こと柏木黙二の遺稿集。内題「狂歌ねさめの伽」。「明治二十九年五月 痴囊」序。「明治二十九年春三月(中略)信濃上田の町人 花月陳人」跋。秋人の肖像等絵入り(画者名不記載)。明治二十九年十一月柏木勘八郎刊。

【一枚摺り】

166 四方夷歌連中双六 〔天明五年〕 刊 四方赤良撰 一枚 911.19 E15

「巴扇印(四方赤良)」自序。「板元 薦から丸／画工 筆綾丸」。彩色刷り。平秩東作の入集狂歌に自分の年齢六十歳が詠みこまれているので、天明五年刊であろう。

167 狂歌摺物 〔天明期〕 刊 〔四方赤良撰〕 一枚 911.19 Ky495

花藍画。九人(腹唐秋人・大屋裏住・辺越方人・一艸亭百馬・膝元さくる・下野国方・伊勢阿婆輔・坂月米人・四方赤良)の狂歌各一首。赤良の詠は「名月のかたちはまろく平鍋の世界のいものふたとこそなれ」。大田南畝旧蔵。

168 狂七福神参詣双六 〔化政期〕 刊 狂歌堂真顔撰 一枚 911.19 Sh25

「四方一流直指道統 狂歌堂真顔」序。彩色刷り。

169 俳諧歌月次丁亥百首初会番付 文政十年 刊 燕栗園千穎撰 一枚 911.19 H1515

170 霞岡判者披露一会狂歌合チラシ 天保二年 刊 愛樹園梅胤撰 一枚 911.19 G24

別途、この披露狂歌合の開巻遅延を付記した「津島天王奉額狂歌合」のチラシ(同年刊)を貼付。

171 浅門改号披露狂歌合甲乙録 天保二年 刊 浅茅庵竜海・浅梨園栄行判 一枚 911.19 Se69

- 172 貫四様大人俳諧歌相撲立番付 天保五年 刊 燕栗園大人等三人撰 一枚 911. 19 H1514
一回忌追善
- 173 見立六歌選 (天保頃) 刊 五側六つみ連 中判六枚組 911. 19 M159
錦絵。香蝶楼国貞画。一枚に二人の狂歌贅があり、六朵園・遊水楼・金鳥園・花鳥園・銀杏亭・松風琴楼等十二人。極印はいずれも滲んで判読できない。
- 174 文車庵追福一会狂歌合チラシ (天保頃) 刊 芍薬亭・浅草庵撰 一枚 911. 19 F54
- 175 狂歌十評英雄集一会大相撲立チラシ (天保頃) 刊 芍薬亭・浅草庵等八人校合 一枚 911. 19 Ky493
- 176 浅草側判者披露チラシ (天保頃) 刊 浅桂园千幹撰 一枚 911. 19 A85
- 177 狂歌一会相撲立劇場百首兼題チラシ (天保頃) 刊 芍薬亭判 一枚 911. 19 Ky492
- 178 狂歌摺物 (天保く幕末頃) 刊 二十六枚 911. 19 Ky496
- (1) 歳旦摺物 狂歌三首 (菅雄・時雄・颯々) 己酉(嘉永二年) 試筆花廼屋
(2) 同 狂歌三首 (森晬亭馬伎・森林亭木守・黄鳥亭大道) 亥の図
(3) 同 狂歌五首 (鶴文・梅園七十六女・豆名・還曆叟椿写・七十二翁秋の屋) 椿花の図
(4) 同 狂歌十二首 (真澄から秋之屋まで各一首) 未知彦描く本と松の図 「春の匂ひ」とある袋入り
(5) 同 狂歌十四首 (有竹から颯々まで各一首) 燕の図 「松葉色 玉井舎」とある袋入り 秋の屋宛
(6) チラシ 狂歌玉之杖 加茂季鷹撰 天保九年
(7) 同 山桜新撰六々肖像集兼題 至清堂撰 葛飾為斎画 嘉永四年
山桜月並名所歌むすひ兼題 槇の屋等撰 年次未詳
(8) 同 庵中春夏臨時会 清音楼撰 安政元年
(9) 同 三十三石三十題狂歌集 清音楼清樹大人撰 年次未詳
(10) 同 菱花園清女追福歌合 不破清樹撰 年次未詳
(11) 同 本魚大角觥狂歌歳時記(二月く六月) 至清堂大人等撰 安政元年
(12) 同 狂歌昼夜行事集 檜園梅明撰 安政元年
(13) 同 社奉納玉兔集(二月く六月) 秋廻屋老師撰 安政元年
(14) 同

- (15) 同 社奉納玉兔集（七月～十一月） 秋廻屋老師撰 安政元年
 (16) 同 三井寺狂譚合 秋廻屋老師評 年次未詳（但し辰年）
 (17) 同 尚齒会后宴誹諧合 古稀翁秋廻屋颯々大人評 年次未詳
 (18) 同 五十道中膝栗毛狂画合月並兼題 十返舎一九撰 安政元年
 (19) 同 年賀狂歌合 八十八翁通用亭徳成等三人合撰 安政二年
 (20) 同 山水亭千可喜居士三回忌追福俳諧歌合 山際亭竹也等撰 安政二年
 (21) 同 繪垣狂歌今様画像集兼題（三月～六月） 竜廻門梅明撰 一猛齋芳虎画 安政三年
 (22) 同 月並狂歌今様画像集兼題（八月～十一月） 竜廻門梅明撰 一猛齋芳虎画 安政三年
 (23) 同 萱屋庵樹靈追悼会 三花園等五人合撰 年次未詳
 (24) 同 午詠始会（加茂川集） 梅の門花兄撰 年次未詳
 (25) 番付 月次連環集二会兼題夏の歌 燕栗園大人・六朶園大人合撰 年次未詳 刷本を入れたのか筒状
 (26) 同 歳環帖甲乙録 牡丹園撰 年次未詳 右上隅に配布先として「大ッ 秋近大人」と墨書。筒状で裏に「執事 森園宇恵丸／会主 溪落子為司」と刻されている。

179 狂歌作者評判記チラシ 弘化二年 刊 至清堂大人・燕栗園大人・花廻屋大人撰 一枚 911. 19 Ky494

180 狂歌作者評判記番付 弘化二年 刊 至清堂大人・花廻屋大人撰・燕栗園大人 一枚 911. 19 Ky471

181 東海駅路狂歌寿娘録 〔嘉永頃〕 刊 繪園梅明撰 一枚 911. 19 To282
 複製（「グラフィック」大正十六年新年号特別附録）。一立斎広重画。彩色刷り。改印「村松」「福」。

182 繪垣新室真木柱集歌合一会チラシ 〔文久前後頃〕 刊 千柳大人・面堂大人等十二人撰 一枚
 嘉永元年立項の147『天明狂歌嘉津羅の花』に挟み込まれている。

【軸物・未表装物】

183 竹本筑後掾像・宇治加賀掾賛 寛政六年表装 一軸 911. 19 U57
 彩色像揚山斎筆。加賀掾賛は「教とてふたつも三つもなきそ只しやうるりに法備はれり」「ふし拍子曲になつむな浄瑠璃は位はかせと程

うつり哉」「三味線のはちかあたりて浄るりはすかき道にひき落さるゝ」の三首で、末尾に「好澄」の署名がある。

- 184 朱楽菅江狂歌軸 「江戸中・後期」 一軸
911. 19 A33-2
詞書「八月廿日あまり三日／黒髪山の雪をみて」云々。狂歌「凡人の登し足の／あともなし」云々。

- 185 式亭三馬狂歌入り書簡 「江戸中・後期」 一軸
915. 5 S134
正月十九日付蘭蕙亭大哥宛（狂歌「早春鶯／のどにならば／鶯の声／よかむめり」云々）

- 186 雷電手形・蜀山人狂歌賛 「文化頃」 写（狂歌蜀山人自筆） 一枚
728. 8 O81-8
未表装扇面。雷電の左手形に、「百里をも」云々の蜀山人狂歌一首（末尾に杏の花の朱印）を添える。

- 187 四方歌垣真顔書簡 「年次未考」 一通
915. 5 O81-8
七月十七日付依田亭宛（巴扇印を散らした封筒付）

- 188 橋庵田鶴丸書簡 「年次未考」 五通
915. 5 A92
(1) 正月廿四日付 秋廻屋大人宛
(2) 正月廿四日付 颯々大人宛
(3) 正月七日付 秋廻屋颯々大人宛
(4) 弥生廿五日 秋の屋大人宛
(5) 四月廿九日 秋の屋大人宛
端書「大津船頭町 伊東源兵衛様 秋の屋大人貴下」。

【冊子本補遺】

- 189 狂俗名所坐知抄（外） 寛政七年 刊 養老館路芳輯・同路産校 横本 二卷二冊 911. 19 H95 1~2
本稿30の後印本で、それと比較するに、原題簽貼付位置が表紙中央から左上方に変わっており、30にあった刊記の朱印と蔵書目録を欠く。刊記「寛政七年歳次／乙卯初秋開板／発行書林／江戸 須原屋茂兵衛／大坂 扇屋利助／同 塩屋長兵衛／同 今津屋辰三郎／同 泉屋源七／京都 吉田新兵衛／同 林安五郎」。

- 190 海道狂哥合（外〈下〉） 文化八年 刊 上田秋成著 大本 二卷二冊 未登録
上巻書題簽。下巻序題「街道狂歌合」。上巻「瑞竜山下無腸隠士／天罰七十余載書」序、「乙丑仲冬 非菜道人」跋。下巻「文鳳」序。下

巻淡彩刷り絵本(南岳・文鳳画)。刊記「右一帖/左南岳維石画/右文鳳馬声画/文化八稔辛未冬刻成/書肆/浪華 河内屋喜兵衛/皇都吉田屋新兵衛」。吉田新兵衛の蔵板目録一丁を付す。チェンバレン旧蔵。

191 類題狂歌千種園(外) 文化十二年 刊 繁雅輯・得閑斎砂長撰 半紙本 四卷四冊 未登録

序題・目録題・内題・尾題「狂歌千種園」。「文化とせまり/ふたつちふとし/のはる/得閑斎砂長」自序。刊記「恋雜之部近刻/文化十二乙亥五月刻成/皇都書肆/林安五郎/吉田新兵衛」。吉田新兵衛蔵板書目二丁があり、その中で本書を「繁雅輯」と広告する。

192 肖像興歌雅筵集(扉) 天保十一年序 刊 煎茶亭清風撰 半紙本 一冊 未登録

恋歌集。「天保十余り一のとし子冬中比/煎茶亭あるし清風」序(青墨刷り)。半丁に二人の肖像(喫茗之画)とその詠各一首を掲載。撰者は南伊勢の人。文海堂梓

193 狂歌葦垣集(外) 嘉永元年開巻 刊 燕栗園・四谷庵・亀玉堂撰 半紙本 一冊 未登録

前年秋に没した腹辺仲住追善集。「仲住と」おなし青山の里にすみてはやう此ぬしとものどひかはし、尚古堂のあるしなり/嘉永のはしめのとし/その月」序。「嘉永元申年四月廿五日於珍芬館披局」。口絵彩色刷り(北溪画)。

194 錦花集(外) 安政五年 刊 安満廻門都竜撰 半紙本 一冊 未登録

扉題・尾題「上京帰路待請狂歌錦花集」。前年三月末に安満廻門が上京した帰路待請集。「安政の五とせうつき 至清堂」序。全丁にわたって京・大坂・東海道の彩色刷り絵入り(孟斎画)。安政五年四月彫、清流亭蔵板。表紙には、安政五年春改版の都竜軒山本嘉兵衛(本書撰者)販売の茶の広告チラシを刷り込む。